

YouTube 動画の活用事例について

日光砂防事務所 総務課 稲部歩花

1. はじめに

毎年国家公務員倫理週間において、人事院政策の意識啓発用教材が関東地方整備局映像共有化システムを通じて放映されている。

事前に放映される日時はあらかじめ指定されており、業務等で都合のつかない場合は放映されている映像を視聴することは難しい。別途本局より DVD 等の教材を借り受けて、事務所で独自に放映することも可能ではあるが、教材を直接借り受けに行かなければならないため、本局から遠方の事務所では借り入れだけで多くの時間を費やすこととなる。

実際、日光砂防事務所においては本局まで往復で約 4 時間かかる。返却時のことも考えると計約 8 時間の移動時間となる。

移動時間が長くなれば効率的な業務遂行に影響が出る可能性があるなど、業務効率の向上等改善のためほかに有効な方法がないか模索することにした。

2. YouTube 動画の活用

職員の倫理に関して人事院のホームページを確認したところ「事例で学ぶ倫理法・倫理規定【YouTube 動画】」が掲載されているのを発見した（図-1）。しかし、関東地方整備局においては閲覧制限の対象となっているため、職場のパソコンでの視聴はできなかった。

その後、関東地方整備局企画部企画課広報係に YouTube 動画の視聴について確認したところ、YouTube 動画のうち関東地方整備局広報チャンネルは閲覧可能となっていることから、関東地方整備局広報チャンネルに該当する閲覧したい動画を登録することにより閲覧が可能になるということが判明した。

そこで人事院の YouTube 動画の中から 3 つの動画を選定し、関東地方整備局広報チャンネルに登録していただくよう依頼し、試行的に期間限定ということでの了解を得た（図-2）。



図-1 人事院 YouTube チャンネル



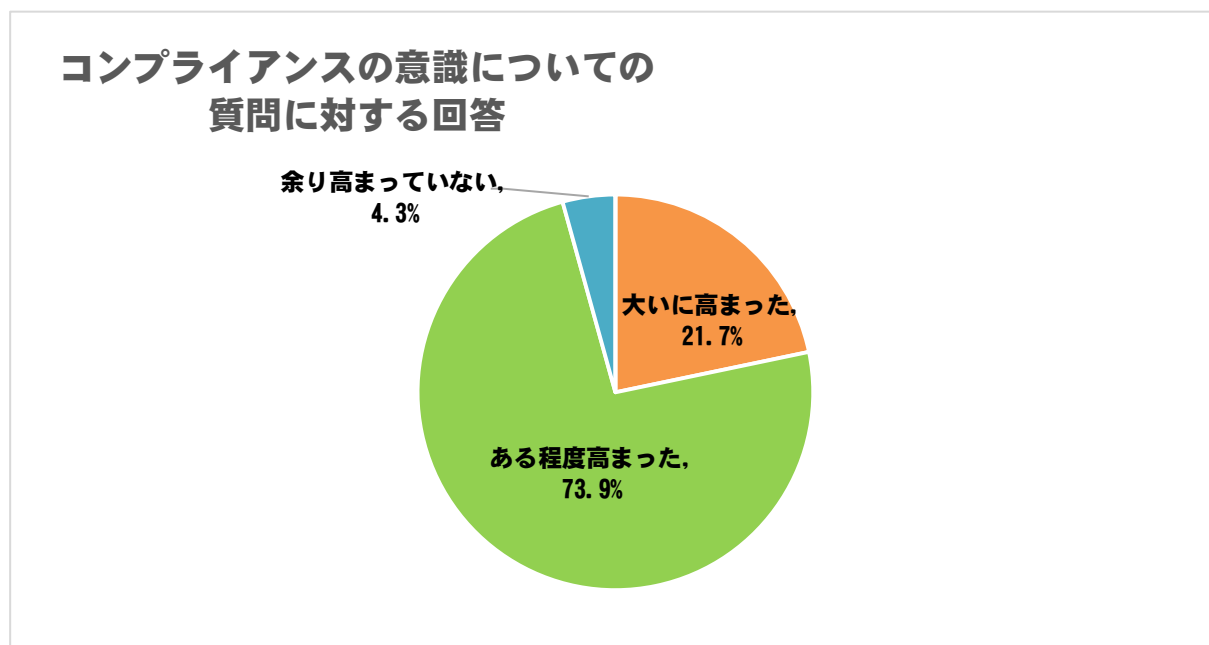
図-2 関東地方整備局広報チャンネル

3. 実施後の意見

動画を閲覧した後、日光砂防事務所の職員に対してアンケートをとったところ、「自席で都合の良いときに視聴できる。」、「気になった部分を繰り返し視聴できる。」、「今回の3つの動画だけでなく他のメニューも視聴したい。」など職員からの意見は概ね好評であった。また全員を集めての会議方式でなかったことから時間の短縮になったという意見や、「DVD と比べ短い時間で業務の合間に視聴することができた。」、「視聴のための会場移動に時間を割かなくて良かった。」というような業務の効率化の面からの意見もあった。

またコンプライアンス意識についての意見では大いに高まった、又はある程度高まったが過半数を占めていた。

しかし、YouTube 動画は音が出ることもあり、自席で視聴することとなると周囲への配慮が必要であったという意見や、イヤホンを使用して良いのかといった意見もあった。



視聴者のコンプライアンス意識向上の問いに対する回答

(職員数：35名 (期間業務職員含む))

休職者：1名 視聴者：34名 アンケート提出者：23名)

5. さいごに

自席で都合の良いタイミングで視聴できる YouTube 動画は概ね好評であったが、逆に一斉にみんなで視聴するわけでないことから、周囲への配慮に気を配らなければならないといった問題点もみえてきた。改善が必要な点としてイヤホンの使用の可否、無音で見られるよう動画内の字幕の整備など、視聴環境の整備ができるとよりよくなると思う。

こういった汎用性の高い動画アプリの使用をこの例に限らず、広報など他の業務にも活用できないか今後さらに検討してまいりたい。